

# 献血のおかげで一命を取り留めました

2018年11月、予定帝王切開での第一子出産時に輸血を受けました。

その日は朝一番で手術室に入り、すぐに娘が産まれました。局所麻酔だったため、娘の産声を聞き、顔を見ることができました。

容体が急変したのはその直後で、元々あった子宮内膜症による子宮と卵巣の癒着が剥がれ、出血が止まらなくなりました。すぐに全身麻酔に切り替えられ、あらかじめ貯血していた自己血では足りず、輸血が行われました。手術は夜までかかり、羊水含み8リットルの大量出血でした。



出産5日後に初めて娘を抱っこすることができた日

**多くの方の献血による十分な輸血が行われたおかげで、私は一命を取り留めることができました。**



2年前に娘が保育園に入園した時の写真です。

今、私は働きながら、4歳になった娘と夫と一緒に、慌ただしい毎日を過ごすことができています。

もしあの時、産まれたての娘の顔を見たのが最後だったら、その後の娘や家族との時間が無いものになっていたら、と考えるととても怖くなります。

**あの時助けてくださり、私と私の家族にその後の時間を与えてくださり、本当にありがとうございました。**

**献血をしてくださった方々には、感謝の気持ちでいっぱいです。**

ペンネーム: いっちゃんママさん

みなさまからご協力頂いた血液は、病気や怪我の治療のための輸血用血液製剤として、患者さんのもとへお届けしております。輸血を受けた患者さんから、献血者の皆様へ全国から感謝のメッセージ「ありがとうの声」が届いています。